









日本各地の同盟罷工

(七月廿七日)

にほんかいくら

博文館職工一千人集つて演説會

雄辯を振つた二女性

失相織ける爲め値上げ問題

工場の罷工工は其數二千人に

達し熱烈なる演説を爲す者引き

も切らす中にも小松くに子近

藤豐子の二人が男子も及ばず

雄辯を振ふあ一方正午歸京した

大橋事務は直に重役會を開き

問題の第二項は夜業を四時間に

制限し四時間以上に亘る時威一

人五割増の事日曜定休に際し

手當を給せるとも簡月省

六日頃より復業するも

所の賃銀は一日分の賃銀を

問題は決し職工側委員と交渉す

ることで決した

工場職工は二十三日正午休憩

もあらだが此條件にて二十

人頃より復業するも

所の賃銀は一日分の賃銀を

問題は決した

工場職工は二十三日正午休憩

もあらだが此條件にて二十

人頃より復業するも

所の賃銀は一日分の賃銀を





